

【担当教員名】 塚原典子	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	45

【概要】

栄養学の基本である栄養および生体成分酵素等に関する基本的な定性実験を行い、その特性および機能について理解する。
また、実験の基本的操作、取り組みを習得する。

【学習目標】

- ・ 栄養学の基礎知識を実験を通して科学的側面から理解する。
- ・ 化学実験に必要な基礎知識を学ぶ。
- ・ 正確な実験操作、適正な実験態度、観察力、洞察力、レポートのまとめ方等を習得する。

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題
	1 2-3 4-5 6-7 8-9 10-11 12-13 14-15	ガイダンス 実験の基本操作 糖質の定性反応 蛋白質の定性反応 脂質の定性反応 消化酵素の働き 栄養アセスメント 栄養アセスメント	実験の概要、実験の心得等 実験機器および実験器具の取り扱い、基本操作、試薬調整法等 糖質の定性実験 蛋白質の定性実験 脂質の定性実験 消化酵素の働きに関する実験 身体計測、尿検査（24時間蓄尿）等 栄養状態の判定および評価について

【使用図書】

<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格・その他>

教科書

参考書

基礎栄養学（ネオエスカシリーズ） 江指年隆、中嶋洋子 同文書院 最新版 2400円
健康・栄養科学シリーズ 基礎栄養学Ⅰ 奥恒行、柴田克己 編集 南江堂 最新版

その他の資料

プリント配布

【評価方法】

出席状況・実験態度等の平常点、およびレポート等から総合的に評価

【履修上の留意点】

実験に適した身だしなみ（白衣着用、実験に相応しい靴など）で臨むこと。